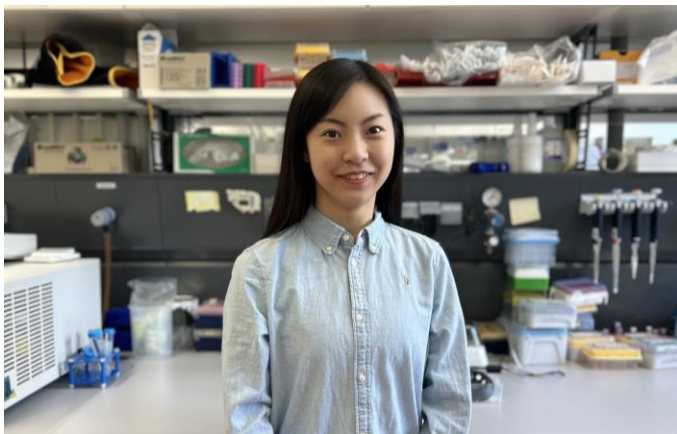


プロフィール



名前	大山 裕貴
所属部署	Helmholtz Zentrum München
職種	Postdoc
この研究室に入った日	2024/07/01
出身地	大阪
趣味	ガーデニング、バレエ

インタビュー

Q1 現在の研究内容を教えてください。

初期胚におけるゲノムの3次元構造の変化について研究しています。受精後には、配偶子(精子と卵子)が融合して新たな個体へと遺伝子発現プログラムが切り替わります。この時、核内でダイナミックなゲノム高次構造の変化が起こることが知られていますが、この変化がどのようにして起こるのかを明らかにしようとしています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

「たった一つの細胞から、どうしてこんなに複雑な生き物ができるんだろう？」という疑問を、ずっと心のなかに抱いていました。その思いに従って、自分が面白いと思った道を選び続けていたらここまで来ました。

Q3 若手研究者へのメッセージ

私は最初から生殖の研究をしていた訳ではなく、沢山の人との出会いや機会に恵まれ、結果的に自分の本当にやりたかった分野に辿り着きました。人との繋がりや偶然のきっかけを大切にしたいです。